事業所名　こころとそだちの支援センター　このは（児童発達支援センター）　**支援プログラム**　作成日　令和６ 年　10 月　1 日

法人（事業所）理念		【法人理念】『子どもの健やかな成長・発達を応援します』　『Ｃｈｉｌｄ　Ｆｉｒｓｔ』を掲げて事業に取り組んでいます 事業所理念：発達の遅れや発達特性を抱える子どもに心地よい育ちの場を提供し、児童福祉や心理・発達支援の専門性を生かし、一人一人に合わせた発達支援を行います。また、保護者、関係者に対して、子どもの発達特性や発達段階に関する理解の促進や相談支援など発達支援を行い、子どもが家庭や地域でも過ごしやすいよう支援します。		
支援方針		当センターの児童発達支援では、子どもの発達のペースや発達特性に合わせた環境の中で、発達支援プログラムを行います。 子どもが集団生活の楽しさを感じ、幼児期において心地よい集団体験を提供できるよう支援します。また、子どもの育ちや生活を支える保護者・関係者の方への相談支援や、発達特性や発達段階に合わせた関わりについてのセミナー等の開催をし、発達支援・子育て支援を行います。		
支援時間		9時から14時まで	送迎実施の有無	(あり)　なし
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	子どもひとりひとりの健康状態の把握をし、健康なこころとからだのそだちを支援します。 食事や排泄といった生活習慣の良いパターンや安定した生活リズムが形成できるようにします。食事の面では、お子さんの口腔機能の発達に合わせることや、感覚過敏や偏食等に配慮して、安心して楽しく食事ができるようにします。排泄については、ひとりひとりの排泄機能の発達段階に合わせることと、子どものトイレの自立に向けての気持ちに配慮して進めていきます。 発達のタイプに合わせて、刺激や環境の調整を行うことで、子ども一人一人の力が発揮しやすい環境を作れるようにします。また、時間の流れや空間がわかりやすい工夫を行して構造化するようにします。		
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢の保持、体全体の動き、手先の動きなどを育てます。感覚過敏や感覚鈍麻など、感覚刺激のとらえ方に配慮した上で、感覚面へのアプローチを行います。 運動面に関しては、運動遊びや感覚統合を取り入れた遊びなどを通したアプローチや、手先を使った課題や遊びを通して、日常生活面の動作につながっていくように支援を行います。また、必要に応じて、補助用具の活用をして生活がしやすいようにしていきます。		
	認知・行動	子どもの認知面の特性を理解し、一人一人に合わせた課題設定を行い、見る力、聞く力、考える力などの子供の力を引き出せるよう支援します。 子どもたちの興味・関心に合わせた様々な活動やプログラム通して、見る力、聞く力や、理解する力を育てていきます。 こどもの興味・関心や、こだわりや感覚の特徴を理解、配慮して活動や環境を工夫し、子どもたちの情緒が安定し、心地よく過ごせるようにします。		
	言語 コミュニケーション	日常の生活の中で、やりとりのモデルを示したり、子どもの代弁を大人がすることで、コミュニケーションの基礎的な力をはぐくむこと、遊びの中で、人と関わる楽しさを感じることができるようにし、人との相互的なコミュニケーションの力を引き出せるように支援します。 一人一人の言語理解・表出面の力に合わせて、コミュニケーション手段を身につけたり、広げていけるようにサポートしていきます。発達の段階やタイプに応じて、言葉以外にも、指さしや、身振りサイン、視覚支援などの手段を用いたり、言葉での表出ができる場合においても、状況に応じたコミュニケーションができるように関わっていきます。		
	人間関係 社会性	遊びの支援では、お子さん一人一人の遊びの段階に合わせて、お子さんが楽しめる遊びを提供し、遊びを広げていけるように支援します。楽しめる世界が広がることや、イメージが広がることで、生活の中での情緒の安定しやすさや、集団の中でも自分のペースで遊ぶ力や、お友達と遊びを共有する力にもつなげていけるよう支援します。 集団の活動の中で、併行遊びや併行参加等ができる環境を作ることで、集団の中でも安心して過ごせる体験や、お友達と心地よい距離感で場を共有できる体験ができるようにします。友達とのやりとりの際には、大人が関係調整を行うことで、友達とのやりとりの成功体験を積めるようにします。活動の中でも、「大人と一緒にやってみたらうまくできた！」や、困った時、難しい時には、大人に助けを求めても良いこと、大人に発信することで良いことがあったという体験ができるようにしていきます。		
家族支援		月1回の親サポートを通して、お子さんの発達のタイプの理解や、お子さんに合った対応の仕方について一緒に考えていきます。また、ご家族からの子育て等の困りごとに対して相談をお受けします。親グループ、保護者向けの講座等を通して、保護者同士の交流の機会を設けたり、発達についてや、関わり方を学べる機会を提供させていただきます。	移行支援	お子さんやご家族が、地域の中でも安心して生活できるように、地域の園や関係機関、就学先に対し、お子さんの発達や認知面・行動面について伝えていくとともに、お子さんに合ったかかわり方や、環境調整について共有していきます。
地域支援・地域連携		お子さんに関わる保健、医療、福祉、教育などの関係機関、関係者の方と連携し、お子さんやご家族が適切な支援を受けられるように支援します。	職員の質の向上	お子さんの発達や情緒面の理解を深めたり、対応方法について検討するための所内会議を定期的に行っております。また、公認心理師の先生によるスーパービジョンや研修会を月１回行っています。 研修計画を立て、様々な側面について学べる研修を受講し、職員の支援スキルの向上に努めます。
主な行事等		入園・進級式、保護者説明会、開所記念イベント「ばんぱく」（展示・発表会）、春の遠足、水遊び・プール開き、秋の遠足、秋祭り、クリスマス会、おもちつき、どんど焼き、おわかれパーティー／卒園式　など		